

授業科目	保健医療総論 2	2 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	必修

科目担当責任者	太田久晶 (保健医療学研究棟 E512 号) e-mail : hisoh@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	菅原和広、中村充雄、浅利剛史、長谷川真澄、今野美紀、中村真理子、澤田いづみ、田畑久江、山田崇史、木島輝美、林佳子、深川周平、他		
概要	介護老人保健施設、介護老人福祉施設、通所系サービスを利用している高齢者と実際にコミュニケーションをとり、対象者の理解に基づいたコミュニケーションの重要性と、保健医療福祉専門職の機能を知ることが目的とする。さらに、世代や立場が異なる様々な人との関わりから考え方の多様性を理解し、今後の学習活動のレディネスを高める。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の生活を支援する場における多職種連携の目的・方法を知ることができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 介護施設における多職種連携の目的・方法を知ることができる。</li> <li>2) 介護施設と医療施設における多職種連携の共通点と相違点を述べることができる。</li> </ol> </li> <li>2. 対象者の理解に基づいたコミュニケーションの実践をとおして、その重要性を理解できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事前学習に基づき、加齢による変化や疾病をもつ対象者に配慮したコミュニケーションができる。</li> <li>2) 実習体験をとおして、対象者の特徴に応じたコミュニケーションのあり方を述べるができる。</li> </ol> </li> <li>3. 対象者と関わる保健医療福祉専門職の種類と役割を知るとともに、保健医療専門職をめざす学習者としての自己の課題を認識できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象者に関わる保健医療福祉専門職の種類と役割を述べるができる。</li> <li>2) 保健医療専門職をめざす学習者としての自己の課題を述べるができる。</li> </ol> </li> <li>4. 本学習課題の達成という目標に向け、学生・教職員・施設職員で構成される学習チームの一員として主体的かつ協働的に行動できる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習チームの一員として、学生メンバーおよび教職員や施設職員と主体的にコミュニケーションできる。</li> <li>2) 世代や立場の異なる人との関わりから、考え方の多様性について述べるができる。</li> <li>3) 学習課題達成のために、学習チームの一員としての役割を果たすことができる。</li> </ol> </li> <li>5. 対象者の安全・安楽を守り、医療人としての倫理的態度に基づいた行動ができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 対象者のプライバシーに配慮し、尊重した態度で接することができる。</li> <li>2) 対象者の安全・安楽を守るために施設職員へ必要に応じて報告・連絡・相談ができる。</li> <li>3) 「実習等における個人情報の取り扱い指針第3版」に基づき記録・情報を適切に管理できる。</li> </ol> </li> </ol>		
関連科目	保健医療総論1、保健医療総論3、保健医療総論4		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考 個人レポート：記録類の提出状況と内容および演習・実習での発言内容から学習目標の到達度に基づき評価 学習態度：学内演習並びに施設実習における取り組み態度により評価 いずれも、ルーブリックを用いて評価を行う。
	個人レポート	60%	
	学習態度	40%	
教科書	指定なし		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	正当事由によりやむを得ず遅刻、早退、欠席する場合は、必ず事前に連絡すること。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1-5	学内演習：学習目標1~3について、事前学習の共有、実習に向けての準備を行う。 方法：3~4名の3学科混成グループを編成し、グループ学習を行う。 内容：高齢者とのコミュニケーションに関して、事前学習の共有、インタビューガイドの作成とロールプレイを行う。対	事前：EVOを視聴し、事前課題に取り組む。 事後：グループ学習の復習	演習	担当教員 全員

	象者と保健医療福祉専門職との関わりについて、事前学習の共有、介護保険施設に関する調べ学習、施設職員へのインタビューガイドを作成する。			
6-10	施設実習：介護保険施設の職員、利用者と関わるオンライン実習。 方法：学内演習と異なるグループ編成で、4チームに分かれてオンライン実習を行う。 内容：施設職員からの講話、施設利用高齢者とのオンライン・コミュニケーション。	事前：インタビューアーのイメージトレーニングをする。 事後：実習記録の提出	オンライン実習	〃
11-15	学内演習：施設実習の体験を共有し、学びを深める。 方法：学内演習と同じグループ編成でグループ学習を行う。 内容：グループで施設実習の学びを共有し、グループ討議の課題に基づき発表資料を作成する。教室別に報告会を行い、意見交換する。	事後：個人レポートの提出	演習	〃